

第3回 徳島県GIGAスクール構想推進本部

次 第

日時 令和2年12月17日(木)
午後4時～午後5時
場所 徳島県庁9階 教育委員室

1 開会

2 本部長挨拶

3 議事

- (1) 「不登校児童生徒の学び支援検討部会」の設置について
- (2) 部会最終報告
- (3) 「徳島県GIGAスクール構想」最終まとめ(案)について
- (4) 教職員研修について
- (5) 今後のスケジュールについて
- (6) その他

4 閉会

<配布資料一覧>

- ・ 次第, 出席者名簿及び配席図, 設置要綱
- ・ 【資料1】 「不登校児童生徒の学び支援検討部会」の設置について
- ・ 【資料2】 部会最終報告について
- ・ 【資料3】 「徳島県GIGAスクール構想(素案)」に関するパブリックコメントの実施結果について
- ・ 【資料4】 教職員研修について
- ・ 【資料5】 スケジュール
- ・ (別冊) 「徳島県GIGAスクール構想」最終まとめ(案)
- ・ (別冊) 「ICTを活用した指導のポイント・事例集」
- ・ (別冊) アプリケーション活用マニュアル

第3回徳島県GIGAスクール構想推進本部 出席者

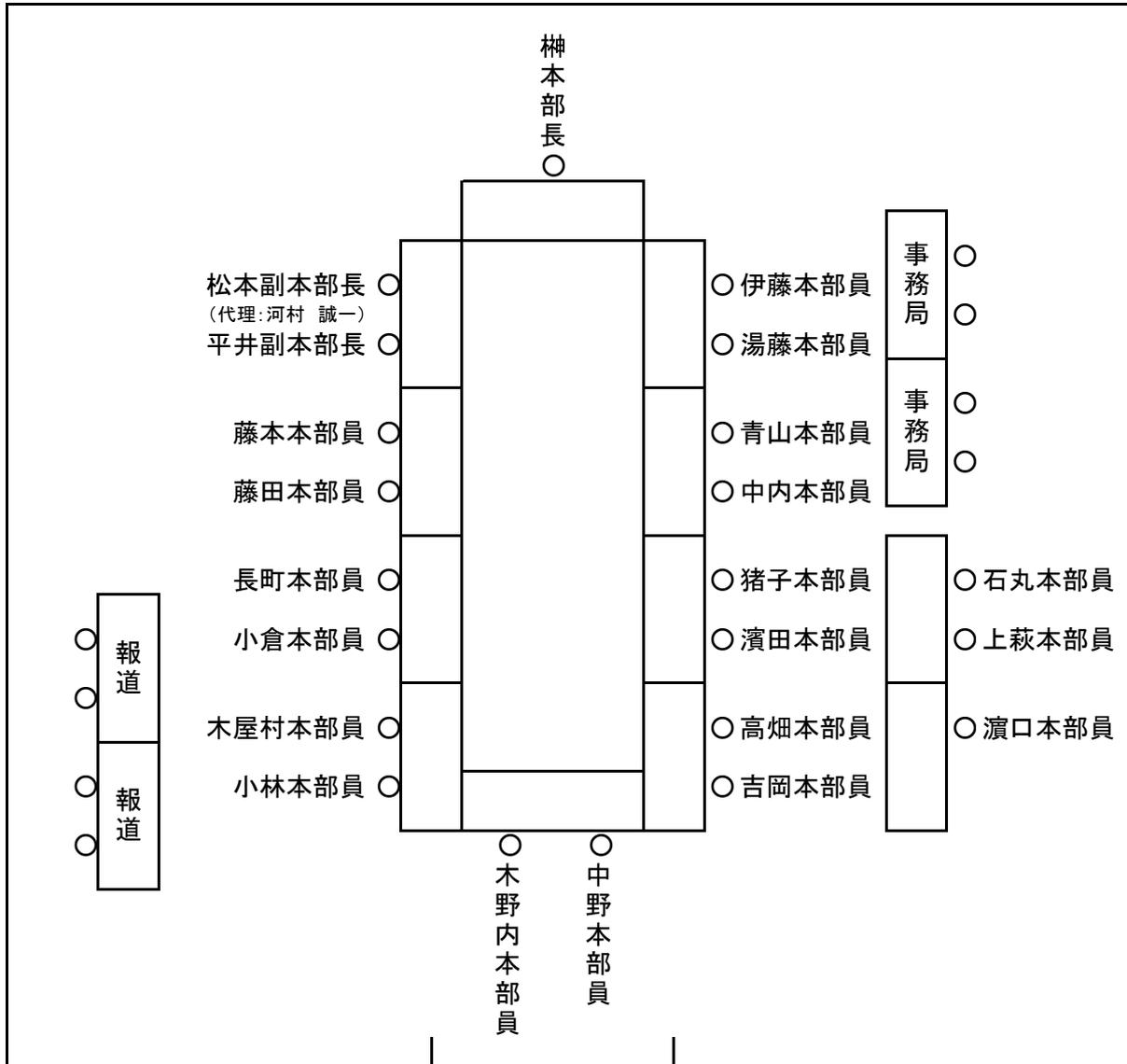
所属及び役職	氏名	備考
徳島県教育委員会 教育長	榊 浩一	本部長
徳島県市町村教育委員会連合会 会長	松本 賢治	副本部長 (欠席)代理：副会長 河村 誠一
徳島県教育委員会 副教育長	平井 琢二	副本部長
徳島県小学校長会 会長	伊藤 昭仁	
徳島県中学校長会 会長	湯藤 義文	
徳島県高等学校長協会 会長	青山 佳裕	
徳島県高等学校長協会 特別支援教育部会 部会長	中内 貴文	
徳島県教育委員会 教育次長（県立学校担当）	藤本 和史	
徳島県教育委員会 教育次長（小中学校担当）	藤田 完	
徳島県教育委員会 教育次長（教育政策課長事務取扱）	長町 哲治	
徳島県教育委員会 教職員課 課長	小倉 基靖	
徳島県教育委員会 学校教育課 課長	木屋村 浩章	
徳島県教育委員会 グローバル・文化教育課 課長	小林 恭子	
徳島県教育委員会 特別支援教育課 課長	猪子 秀太郎	
徳島県教育委員会 人権教育課 課長	濱田 哲也	
徳島県教育委員会 人権教育課 いじめ問題等対策室長	高畑 聖	
徳島県教育委員会 体育学校安全課 課長	吉岡 直彦	
徳島県教育委員会 生涯学習課 課長	木野内 敦	
徳島県立総合教育センター 所長	中野 敏章	
徳島県立総合教育センター 学校経営支援課 課長	石丸 憲治	
徳島県立総合教育センター 教職員研修課 課長	上萩 琴美	
徳島県立総合教育センター 教育情報課 課長	濱口 和弥	

事務局

徳島県立総合教育センター 教育情報課	班長 橋本 史朗 班長 黒田 收
--------------------	---------------------

配席図

徳島県庁9階 教育委員室



徳島県G I G Aスクール構想推進本部設置要綱

1 (趣旨)

G I G Aスクール構想の実現に向け、徳島県においては、令和2年度中に義務教育段階から県立高校及び特別支援学校高等部に至るすべての学年に1人1台端末を整備することとしている。

そこで、平時、有事を問わず、すべての児童生徒に一貫した学びの機会を保障するとともに個別最適化された教育を推進するため、「徳島県G I G Aスクール構想推進本部（以下、「推進本部」という。）」を設置する。

2 (推進事項)

- (1) 共通アプリケーション等の検討・導入
- (2) 授業・学習方法の検討（研修計画も含む）
- (3) 危機管理対策（緊急時の授業方法検討、家庭の通信環境の確保対策）

3 (構成)

推進本部の構成は、次のとおりとする。ただし、本部長は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求めることができる。

本部長：徳島県教育委員会教育長

副本部長：徳島県市町村教育委員会連合会会長
徳島県教育委員会副教育長

本部員

◇関係団体

徳島県小学校長会会長、徳島県中学校長会会長、徳島県高等学校長協会会長、
徳島県高等学校長協会特別支援教育部会部会長

◎徳島県教育委員会事務局

教育次長（県立学校担当）、教育次長（小中学校担当）、
教育政策課長、教職員課長、学校教育課長、グローバル・文化教育課長、
特別支援教育課長、人権教育課長、いじめ問題等対策室長、体育学校安全課長、
生涯学習課長

○総合教育センター

所長、学校経営支援課長、教職員研修課長、教育情報課長

4 (部会)

推進本部は、必要に応じ、「徳島県G I G Aスクール構想」の実現に必要な作業を行う部会を設置することができる。部会の構成員は、教育委員会、県立学校、市町村立小中学校及び大学等の職員で本部長の指定する役職にある者とする。

5 (庶務)

推進本部の庶務は、関係各課等の協力を得て、総合教育センター教育情報課内において処理する。部会の庶務は部会長が命じる者が処理するものとする。

6 (その他)

前各項に定めるもののほか、推進本部及び部会の運営に関する事項その他必要な事項は、本部長が定める。

附則

この要綱は、令和2年7月1日から施行する。

附則

この要綱は、令和2年12月1日から施行する。

徳島県GIGAスクール構想推進本部 本部員名簿

所属及び役職	氏名	備考
徳島県教育委員会 教育長	榊 浩一	本部長
徳島県市町村教育委員会連合会 会長	松本 賢治	副本部長
徳島県教育委員会 副教育長	平井 琢二	副本部長
徳島県小学校長会 会長	伊藤 昭仁	
徳島県中学校長会 会長	湯藤 義文	
徳島県高等学校長協会 会長	青山 佳裕	
徳島県高等学校長協会 特別支援教育部会 部会長	中内 貴文	
徳島県教育委員会 教育次長（県立学校担当）	藤本 和史	
徳島県教育委員会 教育次長（小中学校担当）	藤田 完	
徳島県教育委員会 教育次長（教育政策課長事務取扱）	長町 哲治	
徳島県教育委員会 教職員課 課長	小倉 基靖	
徳島県教育委員会 学校教育課 課長	木屋村 浩章	
徳島県教育委員会 グローバル・文化教育課 課長	小林 恭子	
徳島県教育委員会 特別支援教育課 課長	猪子 秀太郎	
徳島県教育委員会 人権教育課 課長	濱田 哲也	
徳島県教育委員会 人権教育課 いじめ問題等対策室長	高畑 聖	
徳島県教育委員会 体育学校安全課 課長	吉岡 直彦	
徳島県教育委員会 生涯学習課 課長	木野内 敦	
徳島県立総合教育センター 所長	中野 敏章	
徳島県立総合教育センター 学校経営支援課 課長	石丸 憲治	
徳島県立総合教育センター 教職員研修課 課長	上萩 琴美	
徳島県立総合教育センター 教育情報課 課長	濱口 和弥	

事務局

徳島県立総合教育センター 教育情報課	班長 橋本 史朗 班長 黒田 收
--------------------	---------------------

徳島県GIGAスクール構想推進本部 部会員名簿

◎:部会長 ○:部会庶務担当者

部会	所属及び役職	氏名	備考
総務部会	徳島県教育委員会 教育次長(教育政策課長事務取扱)	長町 哲治	◎
総務部会	徳島県教育委員会事務局 教育政策課 係長	梶本 悠二	
総務部会	徳島県教育委員会事務局 教育政策課 主任	三崎 富生	○
総務部会	徳島県教育委員会事務局 学校教育課 主事	広田 智哉	
総務部会	徳島県教育委員会事務局 グローバル・文化教育課 主任主事	八幡 菜摘	
総務部会	徳島県教育委員会事務局 特別支援教育課 指導主事	大久保 秀昭	
総務部会	徳島県教育委員会事務局 生涯学習課 社会教育主事	榎井 知恵	
総務部会	徳島県立総合教育センター 教育情報課 主査兼係長	橋本 和也	
総務部会	徳島県危機管理環境部 危機管理政策課 主任主事	中野 真太郎	
総務部会	徳島県政策創造部 Society5.0推進課 係長	中野 誠司	
総務部会	公益財団法人e-とくしま推進財団 事務局長	春木 麻紀	
小学校部会	徳島県立総合教育センター 教職員研修課 課長	上萩 琴美	◎
小学校部会	徳島県教育委員会事務局 学校教育課 統括指導主事	阿部 敏和	
小学校部会	徳島県教育委員会事務局 グローバル・文化教育課 指導主事	藤長 あかね	
小学校部会	徳島県立総合教育センター 学校経営支援課 指導主事	木村 麻紀子	
小学校部会	徳島県立総合教育センター 教職員研修課 班長	榎本 孝裕	○
小学校部会	徳島県立総合教育センター 教育情報課 指導主事	武知 将人	
小学校部会	阿南市教育委員会教育部 学校教育課長	村上 耕太郎	
小学校部会	鳴門市里浦小学校 教頭	遠藤 比呂誌	
小学校部会	阿南市立桑野小学校 教諭	岡田 希	モデル校
小学校部会	吉野川市立高越小学校 教頭	長谷 彰彦	
小学校部会	上板町立高志小学校 指導教諭	中谷 雪路	モデル校
中学校部会	徳島県教育委員会事務局 学校教育課 課長	木屋村 浩章	◎
中学校部会	徳島県教育委員会事務局 学校教育課 学力向上推進幹	齋藤 大輔	
中学校部会	徳島県教育委員会事務局 学校教育課 指導主事	土壁 直樹	
中学校部会	徳島県教育委員会事務局 グローバル・文化教育課 指導主事	武知 一誠	
中学校部会	徳島県立総合教育センター 教職員研修課 指導主事	谷 陽子	○
中学校部会	徳島県立総合教育センター 教育情報課 指導主事	楠 俊弘	
中学校部会	徳島市教育研究所 所長	松永 健治	
中学校部会	鳴門市鳴門第一中学校 教頭	幸路 義文	
中学校部会	美馬市立六吹中学校 教諭	石橋 洋平	モデル校
中学校部会	三好市立東祖谷小・中学校 教諭	東 武志	モデル校
中学校部会	石井町石井中学校 校長	吉浦 正純	
高等学校部会	徳島県立総合教育センター 学校経営支援課 課長	石丸 憲治	◎
高等学校部会	徳島県教育委員会事務局 学校教育課 統括指導主事	助道 和雄	
高等学校部会	徳島県教育委員会事務局 グローバル・文化教育課 指導主事	田中 由子	
高等学校部会	徳島県立総合教育センター 学校経営支援課 班長	平田 義明	○
高等学校部会	徳島県立総合教育センター 教育情報課 班長	橋本 史朗	
高等学校部会	徳島県立城東高等学校 教頭	大野 真二	モデル校
高等学校部会	徳島県立つるぎ高等学校 校長	古味 俊二	モデル校
特別支援学校部会	徳島県教育委員会事務局 特別支援教育課 課長	猪子 秀太郎	◎
特別支援学校部会	徳島県立総合教育センター 教育情報課 班長	黒田 収	
特別支援学校部会	徳島県立総合教育センター 特別支援・相談課 班長	松本 美知代	○
特別支援学校部会	徳島県立板野支援学校 校長	上野 清文	
特別支援学校部会	徳島県立国府支援学校 教諭	岡本 雅子	
特別支援学校部会	徳島県立ひのみね支援学校 教諭	乾 和彦	モデル校
不登校児童生徒の学び支援検討部会	徳島県教育委員会事務局 人権教育課 いじめ問題等対策室長	高畑 聖	◎
不登校児童生徒の学び支援検討部会	鳴門教育大学大学院 特命教授	阪根 健二	
不登校児童生徒の学び支援検討部会	徳島県教育委員会事務局 学校教育課 統括指導主事	阿部 敏和	
不登校児童生徒の学び支援検討部会	徳島県教育委員会事務局 学校教育課 統括指導主事	助道 和雄	
不登校児童生徒の学び支援検討部会	徳島県教育委員会事務局 特別支援教育課 指導主事	中山 登	
不登校児童生徒の学び支援検討部会	徳島県教育委員会事務局 体育学校安全課 指導主事	一森 淳代	
不登校児童生徒の学び支援検討部会	徳島県立総合教育センター 教育情報課 班長	黒田 収	
不登校児童生徒の学び支援検討部会	徳島県立総合教育センター 特別支援・相談課 班長	大西 かずき	○

資料 1

「不登校児童生徒の学び支援検討部会」の設置について

1 設置の趣旨

徳島県GIGAスクール構想で整備されるICT環境を利用した、不登校児童生徒の状況に応じた学び等の支援の在り方を検討する。

※令和元年度不登校児童生徒数（県内国公立）

小：274名，中：667名，高：112名

2 部会の構成

徳島県GIGAスクール構想推進本部の新たな部会として、GIGAスクール構想環境の有効活用に向けた「不登校児童生徒の学び支援検討部会」を設置する。

【構成員】（8名）

所属及び役職等	氏名	備考
徳島県教育委員会人権教育課 いじめ問題等対策室長	高畑 聖	部会長
鳴門教育大学大学院 特命教授	阪根 健二	
徳島県教育委員会学校教育課 統括指導主事	阿部 敏和	
徳島県教育委員会学校教育課 統括指導主事	助道 和雄	
徳島県教育委員会特別支援教育課 指導主事	中山 登	
徳島県教育委員会体育学校安全課 指導主事	加賀谷扶美世	
徳島県立総合教育センター 教育情報課 班長	黒田 収	
徳島県立総合教育センター 特別支援・相談課 班長	大西かずき	部会庶務担当

3 検討事項

- (1) GIGAスクール構想環境を利用した不登校児童生徒への支援に対する基本的考え方
- (2) GIGAスクール構想環境を利用した学校等の取組の充実
- (3) 教育委員会の取組の充実
- (4) その他、支援のために必要な事項

4 スケジュール

令和3年上半期までに部会を4回程度実施し、徳島県GIGAスクール構想推進本部で報告書を取りまとめ、その内容に基づき実証校で実践的に取り組み、その成果を検討後、横展開する。

※第1回部会 令和2年12月22日（火）開催予定

資料2

部会最終報告について (「徳島県GIGAスクール構想」最終まとめについて)

1 第2回推進本部以降の協議経過

- 10月15日 第2回推進本部
11月9～18日 部会の開催
- | | |
|----------|----------|
| 小学校部会 | : 11月18日 |
| 中学校部会 | : 11月9日 |
| 高等学校部会 | : 11月11日 |
| 特別支援学校部会 | : 11月16日 |
- 12月11日 第3回部会総会(書面開催)

2 各部会での協議内容

(1) 小・中・高・特別支援学校部会

- ① 育成する情報活用スキル(指導のベースライン)について
- ② 健康面での留意点について
- ③ 各教科等活用事例の内容検討
- ④ 徳島県GIGAスクール構想説明会について

(2) その他(事務局)

- ① コンテンツ提供サービス調査(県立中・高・中等教育学校)
- ② 「徳島県GIGAスクール構想(素案)」に関するパブリックコメントの実施(令和2年11月20日～12月4日)

3 部会での協議まとめ

(1) 育成する情報活用スキル(指導のベースラインについて)

児童生徒の発達段階に応じて育成すべき情報活用能力のうち、「知識及び技能」(情報活用スキル)について、表1のとおり各学年での到達目標を整理した。

表1 育成したいスキル等

- | |
|---------------------------------|
| ア 学習活動に必要なアプリケーションソフトの操作ができる。 |
| イ 情報の収集・処理・発信に情報モラルを考慮した活動ができる。 |
| ウ 情報セキュリティを遵守した情報の取扱いができる。 |

(2) 健康面での留意点について

ICT活用教育を行う上での児童生徒・保護者及び教職員が共通理解として留意すべき内容について整理した。(参考:文部科学省「児童生徒の健康

に留意してICTを活用するためのガイドブック」,平成26年4月)

① 留意事項の考え方

1人1台のタブレット端末,電子黒板,無線LAN,クラウドコンピューティング技術,デジタル教科書を活用する教育を実施する上で,健康面で留意する事項を整理することで,ICT活用教育に関する児童生徒・保護者・教職員の理解の増進を図り,学校のICT活用を推進する。

② 具体的な改善策

ア 教室の明るさ

イ 電子黒板(大型提示装置)

ウ タブレット端末

③ その他配慮事項

ア 児童生徒の視力

イ ドライアイ

ウ 色のバリアフリーについて

エ 睡眠前のICT機器の利用

オ ブルーライト

カ ヘッドフォンの音量による健康面への影響

④ ICT機器を利用した授業を実施する場合のチェックリスト

(3) 各教科等活用事例の内容検討

各部会において,タブレット端末,教育クラウド,デジタル教科書等を活用した教育活動で効果的に利用した例について取りまとめ,推進本部において,児童の発達段階に応じた教育活動について,各教科等における指導のポイント,指導事例を示す。

① 授業等におけるICTを効果的に活用した教育活動

② 予習・復習等,家庭学習における活用

(4) 徳島県GIGAスクール構想説明会について

① 共通アプリケーションの操作マニュアルの検討

② タブレット端末と共通アプリケーションを活用したデモンストレーション・模擬授業の実施方法について

4 その他(事務局)

(1) コンテンツ提供サービス調査(県立中・高・中等教育学校)について

① 目的

第2回推進本部において,県立学校で利用するクラウドサービスの方針を決定したことを受けて,各学校のコンテンツ提供サービスの利用状況を調査する。

② 整備方針

県立中・高・中等教育学校におけるコンテンツ提供サービスは,Classi

株式会社の「Classi」を基本とする。

③ 調査対象校

県立中・高・中等教育学校 42（校・課程）

④ 調査期間

令和2年10月27日～11月6日

⑤ 結果概要

ア 利用中のコンテンツ提供サービス

- ・Classi 6校（EdTechモデル校2校を含む）
- ・スタディサプリ 3校
- ・その他 5校
- ・なし 29校

イ Classi以外に，利用を希望するコンテンツ提供サービスについて

- ・特になし（Classiでよい） 40校
- ・スタディサプリ 2校

⑥ 今後の取組方針

調査結果を受け，県立学校においてはClassiを調達することとし，市町村の共同調達の意向も踏まえて必要な手続を実施する。

資料3

「徳島県GIGAスクール構想（素案）」に関する パブリックコメントの実施結果について

1 募集期間

令和2年11月20日（金）～12月4日（金）

2 意見数

応募者数 15人

応募意見数 30件（複数の趣旨を記載した意見を細分化した意見数）

3 意見の内訳（不可分の意見があるため、重複あり）

- ・教員の指導力向上について 7件
- ・環境整備について 4件
- ・家庭での通信確保について 2件
- ・教職員の負担軽減について 3件
- ・外部人材の活用について 2件
- ・情報セキュリティについて 2件
- ・その他 13件

賛同の意見	3件
周知・広報について	1件
構想の在り方について	2件
表記等について	1件
高等教育機関との連携について	3件
徳島科学技術高校について	2件
徳島中央高校通信制について	1件

4 結果公表に向けたスケジュール

- ・事務局（教育情報課）にて回答案作成，関係課照会
- ・推進本部で報告
- ・結果公表（県ホームページ）

5 資料

- ・意見と回答（案）（別紙）



「徳島県GIGAスクール構想（素案）」について県民の皆さんのご意見を募集します。

徳島県では、ICTによって子供たち一人一人に個別最適化された教育を推進するため、「徳島県GIGAスクール構想」の策定を進めているところです。

このたび、徳島県としての構想の「素案」をとりまとめました。

今後、より多くの皆さんのご意見をうかがい、反映させることで、さらによりよい構想にしたいと考えています。ぜひ、あなたのご意見をお聞かせください。

1 ご意見の募集期間

令和2年11月20日（金）～ 令和2年12月4日（金）（必着）

2 ご意見の提出方法

ご意見を提出される方は、氏名及び住所を明記の上、次のいずれかの方法により、提出してください。（ホームページから投稿の場合は入力フォームにより、その他の場合は別紙により提出してください。）

①ホームページからの投稿の場合

https://www.pref.tokushima.lg.jp/public_comment/

②郵送の場合

〒770-8570 徳島県監察評価課県庁ふれあい室あて

※住所の記入は不要です。

③ファクシミリの場合

FAX：088-621-2862 徳島県監察評価課県庁ふれあい室あて

④持参の場合

徳島県庁1階 監察評価課県庁ふれあい室まで

（午前8時30分から午後6時15分まで（土・日・祝日を除く））

3 お問い合わせ先

（内容について）徳島県教育委員会 総合教育センター 教育情報課

電話：088-672-5064 FAX：088-672-5109

メールアドレス：johokyouiku@mt.tokushima-ec.ed.jp

（提出方法について）徳島県 監察局 監察評価課 県庁ふれあい室

電話：088-621-2255 FAX：088-621-2862

メールアドレス：fureaikouryuu@mail.pref.tokushima.jp

郵送される場合、切り取って宛名としてご利用ください。

〒770-8570

徳島県 監察評価課 県庁ふれあい室 行
（パブリックコメント）



Q1 「徳島県GIGAスクール構想」ってどんな構想？

Society5.0時代に生きる子供たちにとって、コンピュータは鉛筆やノートと並ぶマストアイテムです。今や、仕事でも家庭でも、社会のあらゆる場所でICT（情報通信技術）の活用が日常のものとなっています。

これを受けて、国においては、ICTによって子供たち一人一人に個別最適化された教育を推進するため、「GIGAスクール構想」を掲げ、『高速大容量校内LANの整備』及び『義務教育段階の児童生徒1人1台タブレットPC端末の整備』を推進しています。

さらに、徳島県では、義務教育段階のみならず、高等学校、中等教育学校（後期課程）及び特別支援学校高等部に対しても『児童生徒1人1台タブレットPC端末』の貸与に向けた整備を進めているところです。

このような流れを受けて、義務教育段階から高等学校段階に至るまで、平時、有事を問わず、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを推進するため、授業や児童生徒の学習活動におけるタブレットPC端末の活用方法などについて検討する必要性がありました。

そこで、「徳島県GIGAスクール構想推進本部」を設置し、検討した事項をまとめたものが「徳島県GIGAスクール構想（素案）」です。



Q2 どんな意見を出せばいいのですか？

「徳島県GIGAスクース構想（素案）」をご一読の上、記述内容についての修正案や、新たに盛り込むことが必要と思われる事項などのご意見、ご提案をお寄せください。



Q3 提出した意見はどうなるのですか？

お寄せいただいたご意見は、構想の策定にあたり十分検討させていただき、可能なものについては構想に反映します。さらに、ご意見の概要及びこれに対する県の考え方を取りまとめた上で公表します。

なお、お寄せいただいたご意見等の公表に際しましては、住所、氏名等の個人情報は、一切公表いたしません。

また、ご意見に対する個別の回答は、原則としていたしませんのでご了承ください。

「徳島県GIGAスクール構想(素案)」に対するパブリックコメントの実施結果について(案)

令和2年11月20日(金)から令和2年12月4日(金)までの間、「徳島県GIGAスクール構想(素案)」について、パブリックコメントによりご意見を募集したところ、15名の方から30件のご意見をいただきました。いただいたご意見の概要と県の考え方は次のとおりです。
なお、複数の趣旨をご記載いただいたご意見は、細分化させていただきましたのでご了承ください。

番号	ご意見の概要	ご意見に対する県の考え方
1	構想案に記載されている各種政策については、どれもが早期実装を求められていると思います。 今後様々な困難が待ち受けているでしょうが、関係者の知恵と工夫を持ち寄り突破していただければと存じます。 ご自身も目標を大切に、gigaの申し子となる地方創生人材の育成に、引き続きご尽力くださいませよう、よろしくお願ひします。	本構想の策定により、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを推進できるよう、努めて参ります。
2	○徳島県と徳島県教育委員会とが一体となって、ICTデジタル活用におけるICTデジタル教育指導力を備えた県内のすべての公立小中学校の教員、公立中学校の教員、公立高等学校の教員の教員育成を行う。→ICT関連企業OBによる「GIGAスクールサポーター」や徳島大学理工学部教授による「ICT活用教育アドバイザー」などのICT専門家を各学校に人材派遣を行う。	県教育委員会では、全公立学校を対象に、児童生徒1人1台端末などのICTを積極的に活用した授業など教育活動への活用方法について、教員研修を実施することとしております。また、外部人材の活用については、国の事業である「ICT活用教育アドバイザー」「ICT支援員」「GIGAスクールサポーター」の活用について、市町村に周知して参ります。
2	○徳島県と徳島県教育委員会が一体となって、県内のすべての公立小学校、公立中学校、公立高等学校の各教室ごとに学校内に線LANの施設整備、教師用デスクトップパソコンの設置配備、児童生徒一人一人に児童生徒用デスクトップパソコンの設置配備、ICT電子黒板の設置配備、電子教科書の設置配備を行う。	国の「GIGAスクール構想」による、「義務教育段階への1人1台端末の整備」「障害のある児童生徒のための入出力支援装置整備」「学校ネットワーク環境の全校整備」「GIGAスクールサポーターの配置」などの施策に加え、徳島県では、「高等学校段階への1人1台端末の整備」により、小学校段階から高等学校段階まで切れ目のない学びを実現するため、ハード面の整備だけでなく、ソフト面や指導体制を一体とした「徳島県GIGAスクール構想」を推進することとしています。いただきましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。
4	○徳島県と徳島県教育委員会が一体となって、徳島県立徳島科学技術高等学校を徳島県GIGAスクール教育指導重点指定校に指定する。→「VS東京」の取り組みの1環として、徳島県立徳島科学技術高等学校VS東京都立科学技術高等学校とのICT対決を行う。	徳島県立徳島科学技術高等学校は、令和2年度、スーパーサイエンスハイスクールの指定校であり、専門高校の強みを生かした理数系教育の拠点校として、特色ある教育活動を展開しています。今後、さらに理数系教育の発展に努めて参りたいと考えており、いただきましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。
3	○徳島県と徳島県教育委員会が一体となって、県内の公立中学校又は公立高等学校において、公立学校の物理学の実験及び化学の実験ができない高度の物理学の実験及び化学の実験を徳島大学理工学部、東京大学(理学部・工学部)、東京工業大学(理学部・工学院)、電気通信大学情報理工学域、京都大学(理学部・工学部)とオンラインで繋いで、ICTオンライン遠隔地理科実験を行う。	県としては、これまで高等教育機関と連携し、高等教育機関の有する知的・人的資源を活用して、地域課題の解決や地域の活性化に取り組んで参りました。いただきましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。
6	○徳島県と徳島県教育委員会が一体となって、徳島県立徳島中央高等学校、通信制課程においてICTオンライン授業によるeラーニングの実施を行う。	いただきましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。

ご意見の概要		ご意見に対する県の考え方	
4	○徳島県と徳島県教育委員会が一体となって、徳島県立徳島科学技術高等学校において、徳島大学本部事務局の協力を得て、徳島大学理工学部で行われているSTEM教育を徳島県立徳島科学技術高等学校にSTEM教育の導入を行う。→徳島県立徳島科学技術高等学校をSTEM教育の拠点学校にする。	徳島県立徳島科学技術高等学校は、令和2年度、スーパーサイエンスハイス쿨の指定校であり、専門高校の強みを生かした理数系教育の拠点校として、特色ある教育活動を展開しています。今後、さらに理数系教育の発展に努めて参りたいと考えており、いただきましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。	
5	○徳島県と徳島県教育委員会が一体となって、徳島GIGAスクール構想の取り組みの一環として、徳島大学AI塾(令和三年一月開講予定)を利用して、県内の小学生、中学生、高校生のAI教育、IoT教育、ICTプログラミング教育、ICTアクティブラーニング教育、ICT情報リテラシー教育などの推進を行う。	県としては、これまでも高等教育機関と連携し、高等教育機関の有する知的・人的資源を活用して、地域課題の解決や地域の活性化に取り組んで参りました。いただきましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。	
6	○徳島県と徳島県教育委員会が一体となって徳島GIGAスクール取り組みの環境で、徳島県立徳島科学技術高等学校の生徒が機械設計CAD、電気回路・電子回路設計CAD、建築設計監理CAD、土木設計監理CADなどの各種のCADソフトが使えるようにする。	工業科では、情報技術における技術革新の開発が加速することなどを踏まえ、電子機械に関わる知識と技術の活用に関する学習の充実に向けた取り組みを展開しているところであり、いただいたご提言については、今後の工業教育を推進する上での参考とさせていただきます。	
7	聞くだけの一方的なオンライン授業では、身に付かない恐れがあるので、授業のやり方を工夫できるように先生の研修を充実させてください。	県教育委員会では、全公立学校を対象に、児童生徒1人1台端末などのICTを積極的に活用した授業など教育活動への活用方法について、教員研修を実施することとしております。	
11	・つい1年前は、Society5.0やAI・ビックデータを活用した学びの実現と言われても、関係ないことという思いがあった。しかし、コロナ禍におけるプラスの副産物として、オンライン授業・多様な教材による学びの深化・平時や有事を問わない学びの連続性等の必要性を強く感じるようになった。また、先進的な取り組みを見聞きする中で、AI等を活用した個別最適化された学びにも魅力を感じる。この機を逃すことなく、県立だけでなく市町村立の児童・生徒にも先端技術による学びの変革を経験できるように取りはからいたい。	本構想の策定により、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを推進できるよう、努めて参ります。	
8	・タブレット端末にインストールされる学習ソフト等については、市町村立学校においても、児童生徒たちの学びの連続性(機種が変わっても使い続けることができると)と教職員の業務の連続性(勤務校が変わっても使い続けることができるよう)が確保できるように市町村教育委員会をご指導いただけますようお願いいたします。	「徳島県GIGAスクール構想」では、市町村で共通して利用するアプリケーションを例示するなど、児童生徒や教職員の異動に伴う負担を軽減するための取り組みを進めているところです。いただきましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。	
13	・まだまだネットワーク環境が十分でない家庭が多く存在する。市町村がネットワーク環境未整備の家庭に支援できやすくなる県施策(市町村への補助金)等をお考えいただけますとありがたいと感じる。	家庭での通信環境確保のための各種の支援制度について、徳島県及び市町村のホームページ等において周知しているところです。いただきましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。	
9	タブレットの活用について生徒の順応力は高く教職員も互いに成果を確認しながら徐々にレベルアップを行っている。小さな成功や失敗も記録もとり共通理解することが大切であると感じている。	本構想の策定により、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを推進できるよう、努めて参ります。	

ご意見の概要		ご意見に対する県の考え方
10	15	県教育委員会では、全公立学校を対象に、児童生徒1人1台端末などのICTを積極的に活用した授業など教育活動への活用方法について、教員研修を実施することとしております。ただ、幅広く活用することができています。ただ、教師の方は研修する時間が必要で、どこでICTを利用するべきか模索しながら、日々の教育活動に関わっています。
7	16	一斉授業の中では集中が持続しない生徒が、タブレットの画面に見入っている姿を見ると、個別学習の可能性を感じます。ただ、ICTに丸投げの教育にならないように、オンとオフの両面ですすめる授業研究が必要だと思えます。
8	17	コロナ禍の中、テレワークが浸透しつつあり、学校が休校の時には、特にオンライン教育が必要となることが話題となっています。これからの時代を生きていく子供たちにとって、PCを使いこなすことが必須となると考えます。そのような状況の中、今回の「徳島県GIGAスクール構想」はぜひとも進めていただきたいと思えます。小学校段階で、「基本的な操作能力を育成する」とありますが、ここでPCが嫌いなにならないように、丁寧に指導してほしいと思います。一人の先生がクラスの生徒全員の指導をすることに無理があると思いますので、何名かの先生がチームを組んで指導できるように配慮していただきたいです。どの子供も楽しくPCを活用した学習に取り組めるようにしていきたいです
9	18	ICTを使って教育を展開するためには、特定の教員だけでなく教員全体のスキルアップが欠かせない。加えて、それをサポート出来る人材が必要だが過疎地域では確保が困難である。県教委が中心となってこうした人材を確保し、県内各地域に配置してほしい。
10	19	第2章の「1基本方針」は、子供の学びに特化したものとなっていますが、「5 GIGAスクール構想の具現化」「6 GIGAスクール構想により期待される効果」には「校務の効率化」についても触れられています。「校務の効率化」を実施することで、教職員の負担軽減が図られ、ワークライフバランスの向上が期待できるとともに、児童生徒に向き合う時間に充てることができ、教育の質の向上が図られるなど、効果的な施策であるため、基本方針として明記してはどうかと思います。
	20	情報セキュリティへの取り組みは重要と考えられますが、素案には、ポリシーの策定や運用に関する記載はあるものの、定期的なチェック・改善についての記載がないため、PDCAサイクルを確立できるように明記してほしいと思います。
		県教育委員会では、全公立学校を対象に、児童生徒1人1台端末などのICTを積極的に活用した授業など教育活動への活用方法について、教員研修を実施することとしております。ただ、幅広く活用することができています。ただ、教師の方は研修する時間が必要で、どこでICTを利用するべきか模索しながら、日々の教育活動に関わっています。
		県教育委員会では、全公立学校を対象に、児童生徒1人1台端末などのICTを積極的に活用した授業など教育活動への活用方法について、教員研修を実施することとしております。ただ、幅広く活用することができています。ただ、教師の方は研修する時間が必要で、どこでICTを利用するべきか模索しながら、日々の教育活動に関わっています。
		「徳島県GIGAスクール構想」では、新学習指導要領で提示されている身に付けるべき能力をもとに、各学校種、児童生徒の発達段階に応じた、情報活用スキルのベースラインを設定することなどにより、学びの連続性を確保することとしております。ただ、幅広く活用することができています。ただ、教師の方は研修する時間が必要で、どこでICTを利用するべきか模索しながら、日々の教育活動に関わっています。
		県教育委員会では、全公立学校を対象に、児童生徒1人1台端末などのICTを積極的に活用した授業など教育活動への活用方法について、教員研修を実施することとしております。ただ、幅広く活用することができています。ただ、教師の方は研修する時間が必要で、どこでICTを利用するべきか模索しながら、日々の教育活動に関わっています。
		GIGAスクール構想を推進することにより、教職員の業務負担軽減に資することができるよう、いただきましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上で参考とさせていただきます。
		県教育委員会では、市町村教育委員会を対象とした「徳島県教育委員会情報教育担当者連絡会議」を定期的に開催し、GIGAスクール構想などICT環境整備の動向や、情報セキュリティの確保など、国の方向性の周知及び意見共有に取り組みしており、いただきましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上で参考とさせていただきます。

ご意見の概要		ご意見に対する県の考え方
11	21	GIGAスクール構想を推進することにより、教職員の業務負担軽減に資することができるよう、いただきましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。
	22	徳島GIGAスクール構想の推進に当たっては、県民の皆様に対して、「教育通信ふれあいひろば」やホームページなどの各種メディアを活用し情報発信に取り組んでいるところです。いただきましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。
	23	「個別最適な学び」の表現については、中央教育審議会等における検討状況を踏まえ、適切に対応することといたします。
12	24	「個別最適な学び」の表現については、中央教育審議会等における検討状況を踏まえ、適切に対応することといたします。
	25	いただきましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。
	26	端末の更新に向けた課題の検討について記載いたします。

番号

ご意見の概要

6 GIGAスクール構想により期待される効果
教育委員会の業務も膨大になっており、市町村教育委員会事務局は多くの対応に日々追
われている。

学校事務職員は、学校業務や教育的素養もあり、かつ行政職という強みを生かし、学校間
をとりまわってICT環境のコーディネート機能を果たすと思われる。

そのためには、教育の情報化だけでなく、総務事務システムの設置を進め、法令に基づい
た共同学校事務室の設置を推進してはどうかか。

まずは校務の効率化と事務機能強化を同時に行うことで、このような新しい時代の学校をマ
ネジメントしていく転換期をうまく乗り越えていけるのではないかと考えます。

子どもたちの豊かな未来のために今後とも変わり続ける徳島県でお願いします。期待してい
ます。

第2章、4章、6章
基本方針、推進体制、指導方法

【概要版の作成について】

・徳島GIGAスクール構想概要版を作成し、広く周知してはどうか。

【文言について】

・個別最適化された学び→個別最適な学び

※文科省や中央教育審議会では、最近「個別最適な学び」と表現しているもので、そ
れに合わせてはどうか。

【第2章 徳島GIGAスクール構想について】

・1人1台端末配布により可能になる教育ビッグデータの具体的な活用方法につい
て構想を示したかどうか。

・短期的な視点だけでなく、長期的な視点も触れてはどうか。

・「とくしまの学校における働き方改革プラン(改定)」との連携について項目立てし
てはどうか。

・幼児教育におけるGIGAスクール構想の課題や方向性についても触れてはどうか。

【第4章 授業及び学習方法について】

・小学校から中学校、中学校から高等学校へ進学する際の情報(学習履歴等)の
引継ぎ、接続における課題について項目立てしてはどうか。

・外部人材の具体的な活用について項目立てしてはどうか。

・対面授業と遠隔・オンライン教育とのハイブリッド化による指導についての構想を
示したかどうか。

・徳島県として10年後の授業のあり方(履修主義や習得主義)について構想を示し
たらどうか。

【第6章 端末の運用管理について】

・端末の更新(買換等)における課題(予算確保等)についても触れたらどうか。

・BYODについて触れてはどうか。

端末の更新に向けた課題の検討について記載いたします。

番号	ご意見の概要	ご意見に対する県の考え方
27	<p>GIGAスクール構想において課題になるのが、教師や親のITリテラシーやスキルの不足だと考えます。教師と親の両方がITやICT技術を日々変化するセキュリティやリテラシーのルールを正確に理解して子供たちに教えることができないのではないかと不安があります。</p> <p>Wordなどの一般レベルのパソコン知識や経験は持ち合わせていても、一歩進んだセキュリティやネットワーク管理、リモート接続等となれば、「わからない・知らない」というのもごく当たり前と言えます。情報システム部門の担当が行うようなイメージです。しかしながら、中小零細企業に至っても同様に、情報システム部門の専門領域の担当者がいない状態で見様見真似でやれることは限りがありますし、一昔前の知識の方が来るのも違うと思います。(よく聞くパターン)</p> <p>もちろん予算の関係もあるかと思いますが、外部人材(今のITスキルがある人材)と計画を進めることができると、子供たちにもより良い学習環境やGIGA教育の目指すところを正しく伝えることができ、これからの時代を牽引するようなスキルを小さい時から身に付けることが出来ると思えます。</p> <p>スマートフォンやタブレットの普及により、パソコンを使わなくても問題なく生活できることもあり、特に若い世代でパソコン離れが進んでいることも不安視しています。</p>	<p>県教育委員会では、全公立学校を対象に、児童生徒1人1台端末などのICTを積極的に活用した授業など教育活動への活用方法について、教員研修を実施することとしております。また、外部人材の活用については、国の事業である「ICT活用教育アドバイザー」「ICT支援員」「GIGAスクールサポーター」の活用について、市町村に周知して参ります。</p>
28	<p>例えば、ZOOMで会議をする、双方向でやりとりをするためには30Mbps程度のスピードがないと操作が非常に辛いです。コロナ禍の間に、大人とのやり取りの中でも会議が止まる(回線が弱いから)ので、対面を求められる場面も多く見受けられました。</p> <p>すべての学校及び家庭で通信環境が整っているとは言えないのが現状です。学校内でも、1階は大丈夫だけれど端の教室はネットが飛んでないんです、と聞いたことがあります。公的な支援によって通信環境の整備も、学校にあるから、でなく、速度を調査しながら進めていかれる良いと思います。</p> <p>通信機器やデバイス进行管理するための知識も共有したり、回線が止まった時やトラブル時にはどうしたらいいか、再起動するなどの方法を学びとして理解しておく必要があるかと思えます。家庭における通信環境についても、ネットつながってまゝ＝速度チェックをしないと実用に耐えかねることになる心配もあるのではないかと思います。</p>	<p>学校ネットワークの整備については、今後のネットワークの高速化に対応できるように、国の「GIGAスクール構想」において、令和2年度に整備しているところですが、また、家庭での通信環境確保のための各種の支援制度については、徳島県及び市町村のホームページ等において周知しているところです。いただきましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>

ご意見の概要		ご意見に対する県の考え方
14	<p>情報機器の導入にあたり、情報セキュリティ対策は非常に重要な要素になってくると思います。</p> <p>セキュリティポリシーの策定を市町村教育委員会で実施し、各学校では実施手順を作成となっていますが、多忙な教師や教育委員が専門外のセキュリティポリシー、実施手順策定を担当するのはかなりの困難を伴うかと思えます。</p> <p>そこで、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. できる限り汎用なポリシーひな型を策定し、個々の教育委員会、学校の負担を減らす。 2. IPAが実施している中小企業情報セキュリティマネジメント指導業務 (https://www.ipa.go.jp/security/keihatsu/sme/management/index.html) なども参考に、専門家による支援や情報セキュリティ啓発を実施する。 <p>以上2点を提案いたします。</p>	<p>県教育委員会では、市町村教育委員会を対象とした「徳島県教育委員会情報教育担当者連絡会議」を定期的に開催し、GIGAスクール構想などICT環境整備の動向や、情報セキュリティの確保など、国の方向性の周知及び意見共有に取り組んでおり、いただきましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
15	<p>タブレット・PC端末を導入するときは無料でMDMが用意されている〇〇社の端末を選ぶべきかと思えます。生徒のモバイル端末の管理がMDMで容易にでき省力化につながります。</p>	<p>1人1台端末の選定に当たっては、各設置者において機能面、利便性、価格面等を総合的に勘案の上決定しております。いただきましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。</p>

資料4

教職員研修について

1 教職員研修について

(1) 「スタートアップ研修（徳島県GIGAスクール構想説明会）」の実施（別紙要項）

① 開催期日

令和2年12月18日（金）	中学校
12月22日（火）	小学校
12月24日（木）	高等学校・特別支援学校

② 対象

（小・中）教頭又は情報担当者1名
（高・特）副校長又は教頭1名及び情報担当者1名

③ 内容

- ・徳島県GIGAスクール構想について
- ・EdTechモデル校実践発表
- ・授業・学習方法について

④ 説明会後の各学校での取組について

- ・説明会の内容について、各学校で伝達研修を実施する。

(2) 「GIGAスクールサポート事業」の実施

令和3年度当初に、全公立学校を対象に、県教委指導主事等による訪問研修を実施する。

（内容）

- ・各市町村・学校の環境・ニーズに対応した1人1台端末及び共通アプリケーションの活用について

(3) 要請訪問の実施

学校の要望に応じて、県教育委員会において訪問研修を実施する。

2 支援体制について

(1) ヘルプデスクの設置

1人1台端末や、共通アプリケーションの利用方法等に関する問い合わせについて、一元化した窓口を設置する。

令和2年度 徳島県G I G Aスクール構想説明会 開催要項

- 1 目的 全ての児童生徒に一貫した学びの機会を保障するとともに、個別最適化された教育を推進するため、県内全公立学校での徳島県G I G Aスクール構想への取組についての共通理解を図る。
- 2 主催 徳島県G I G Aスクール構想推進本部，徳島県教育委員会
- 3 日時
中学校 令和2年12月18日（金） 午後2時から午後4時まで
小学校 令和2年12月22日（火） 午前10時から正午まで
徳島市・名東郡，鳴門市，小松島市，勝浦郡，名西郡，板野郡
令和2年12月22日（火） 午後2時から午後4時まで
阿南市，那賀郡，海部郡，阿波市，吉野川市，美馬市・美馬郡，三好郡・三好市
高等学校・特別支援学校 令和2年12月24日（木） 午後2時から午後4時まで
- 4 場所 徳島県立総合教育センター 1階 ホール
徳島県板野郡板野町犬伏字東谷1-7
- 5 参加者
 - ・小中学校の本・分校の教頭又は情報担当者1名
 - ・高等学校・特別支援学校の本・分校及び全課程の副校長又は教頭1名と情報担当者1名
- 6 日程
(午前の場合)

9:30~10:00	受付
10:00~10:10	開会あいさつ
10:10~10:30	「徳島県G I G Aスクール構想について」
10:30~11:00	「E d T e c hモデル校実践発表」
11:00~11:10	休憩
11:10~11:55	「授業・学習方法について」
11:55~12:00	閉会あいさつ
12:00	閉会

(午後の場合)

13:30~14:00	受付
14:00~14:10	開会あいさつ
14:10~14:30	「徳島県G I G Aスクール構想について」
14:30~15:00	「E d T e c hモデル校実践発表」
15:00~15:10	休憩
15:10~15:55	「授業・学習方法について」
15:55~16:00	閉会あいさつ
16:00	閉会
- 7 その他
 - (1) マスクを着用してください。
 - (2) 当日，午前7時の時点で会場を含む地域（板野町）に，特別警報又は暴風警報が発表中の場合は開催を中止します。

資料5

スケジュール

7月17日	第1回推進本部
8月 3日	第1回部会総会及び第1回部会
8月24日～31日	各学校に対してアンケート実施
9月 2日～16日	部会の開催 小学校部会：9月14日 中学校部会：9月11日 高等学校部会：9月2日 特別支援学校部会：9月16日
10月12日	第2回部会総会（書面開催）
10月15日	第2回推進本部 各部会から中間報告
11月9日～18日	部会開催 小学校部会：11月18日 中学校部会：11月9日 高等学校部会：11月11日 特別支援学校部会：11月16日
11月20日 ～12月4日	パブリックコメント実施
12月11日	第3回部会総会（書面開催）
12月17日	第3回推進本部開催 各部会から最終報告
12月18日～24日	徳島県GIGAスクール構想説明会 小学校：12月22日 中学校：12月18日 高等学校・特別支援学校：12月24日
12月22日	不登校児童生徒の学び支援検討部会の開催
12月～2月	授業手法の提示及び指導事例，次年度の研修計画等の作成 全教員への研修（端末アプリ操作等） ※現場の工夫，新しい技術やアイデアを取り込み，定期的に見直し